

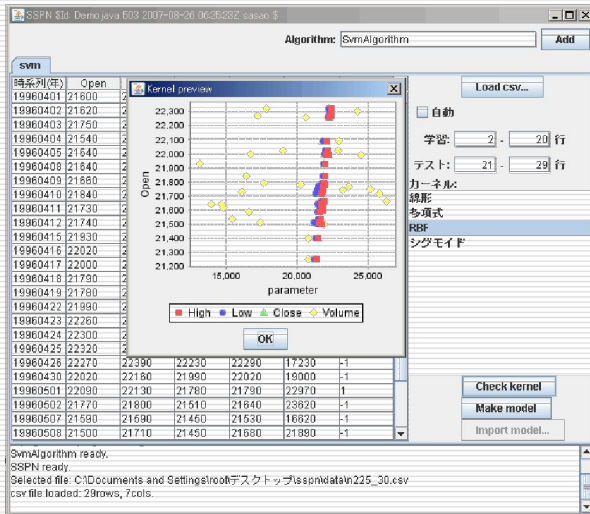
2006年度下期未踏ソフトウェア創造事業

ニューラルネットワークを応用したデータマイニングソフトウェアの開発

開発者:石原 省平

共同開発者:射場本 健彦

キャッチコピー：身近なデータマイニング活用の第一歩！



開発の背景：

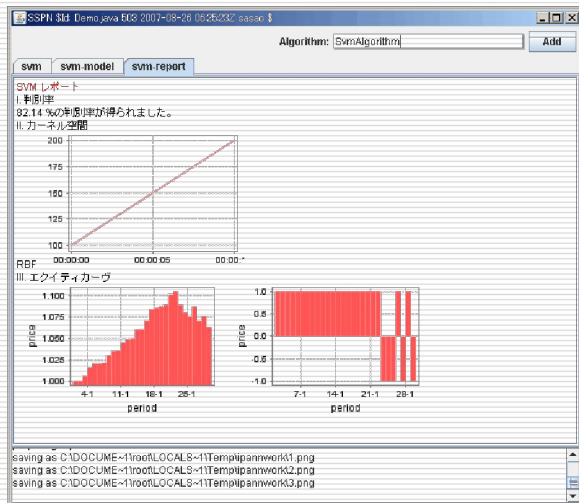
研究者や専門家でもない素人にとって、日々の株式投資などにデータマイニングを活用するのはなかなかハードルが高いものです。

本プロジェクトでは、一般の個人投資家や意欲あるプログラマがこうしたマイニングを身近に感じ、ライトユーザでも気軽に活用できるような環境作りの第一歩となるアプリケーションの開発を目指しました。(ニューラルはSVMに変更)

実現した主要な機能と特徴：

本アプリケーションは標準でSVMとGARCHを実装してライトユーザに使いやすい作りとなっています。特徴としては、データ入力・解析・レポート生成といった各機能がjavaのモジュールとして実装される柔軟な仕様により、各種アルゴリズムのモジュールをテストする、あるいはオリジナルのレポートを生成してみる、といった使い方が可能になっています。

ベネフィット&PRメッセージ



市場あるいはユーザーにもたらす効果:

従来は株式投資などに際して、先進的あるいは複雑なアルゴリズムを試してみるためだけに、専門知識を得なければならない状況でしたが、そういったハードルをわざわざ超える必要のないライトユーザが、気軽にデータマイニングを活用できるといった効果が期待されます。

市場あるいはユーザーに向けたメッセージ:

株式投資のテクニカル分析の際、自分で数式を理解しR言語を習得して計算する必要はありません。ユーザとしては指標の解釈の仕方だけを身につければ十分ではないでしょうか。従来は専門家や研究者が利用してきた先進的なアルゴリズムを、本アプリケーションで活用できるモジュールでの実装にまで落とし込み、コモディティとして充実させていきたいと思えます。気軽に「データマイニングで遊べる」くらいの環境づくりができれば幸いです。